

福岡県	機関名	福岡県	
	部署名	商工部 新事業支援課	
	電話連絡先	092-643-3449	
事業名	デザイン振興事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発、販路開拓を促進。</p> <p>■福岡県産業デザイン協議会(設立:平成 9 年 11 月 13 日/事務局:福岡県商工部新事業支援課) 会 長:古宮 洋二(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員) 会 員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 188 個人・団体(令和 6 年 3 月末時点)</p> <p>■福岡デザインアワード 平成 11 年創設。デザイン性に優れた商品・サービスの審査表彰及び展示を実施。 また、受賞商品 PR 動画を制作や博多駅等でデジタルサイネージ等による交通広告を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 次審査(書類審査):令和 5 年 9 月 6 日 ・最終審査及び授賞式:令和 5 年 10 月 24 日 ・会場:JR 九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街 1-1 JR 博多シティ 9 階) ・応募数:184 件 ・表彰:15 件(大賞 1 件、金賞 4 件、銀賞 10 件) <p>■商品開発・販路拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを開催。 ・受賞企業等について、クラウドファンディングへの出展支援や WEB ミーティング機能を使用した商談会の実施などによる販路開拓支援を実施。 <p><参考 URL> 福岡県産業デザイン協議会 https://www.fida.jp 福岡デザインアワード https://award.fida.jp</p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 9 年度	25,167 千円

福岡デザインアワード福



福岡県	機関名	福岡県工業技術センター インテリア研究所	
	部署名	技術開発課	
	電話連絡先	0944-86-3259	
事業名	製品企画力高度化支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■目的</p> <p>やる気を持った県内家具等の製造業 1社1社に対して製品企画から製品化まで一貫して支援し、各企業のブランドの基幹となる製品の創出や企業の製品企画力向上を通じて、戦略的な製品開発ができる活力ある企業の育成を図る。</p> <p>■概要</p> <p>本事業に参加意欲のある企業を公募により募集し審査会において選定する。(年間3社程度)</p> <p>企業に製品企画に関する助言を行うために有識者によるアドバイス体制を整え、企画から製品化までの支援を行う。</p> <p>企業と外部有識者、インテリア研究所の3者により、具体的な製品企画を行い、その企画を具現化するデザイナーを公募する。</p> <p>選定されたデザイナーのデザイン案を基に、設計・試作・評価を行い製品化へとつなげる。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	2,645千円

福岡県	機関名	福岡市	
	部署名	経済観光文化局新産業振興部コンテンツ振興課	
	電話連絡先	092-711-4329	
事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどのクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。</p> <p>○福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 福岡デザインアワード 受賞商品の販路開拓の支援 デザインを活用した商品開発の推進 <p>○交流創出事業</p> <p>福岡市内の事業者に広く呼びかけて連携し、イベント等を通じて、上記5分野のクリエイティブ関連産業の振興を図っている。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	102.621千円

福岡県	機関名	北九州市	
	部署名	地域経済振興部サービス産業政策課	
	電話連絡先	093-582-2050	
事業名	サービス産業振興事業(デザイン産業振興事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>①デザインシンポジウムの開催 市民、市内企業等がデザインに関する知識を深め、新しいビジネスの創出や課題解決に至るデザイン思考のきっかけとなることを目指し、西日本工業大学デザイン学部と連携し、デザインの分野で活躍される方を講師に招いてシンポジウムを開催。</p> <p>【令和5年度開催内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和5年10月24日(火) ・場所 西日本工業大学 小倉キャンパス ・テーマ 強みをデザインする商品開発～小さな企業が生き残る～ ・講師 有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉 氏 ・参加人数 74名(会場受講48名、オンライン26名) <p>〈参考 URL〉 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/27200193.html</p> <p>②福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携 当協議会への負担金の支出、市内事業者への「福岡デザインアワード」、「デザイン開発ワークショップ」への応募呼びかけ</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
①は令和6年度実施予定なし、②は継続して実施予定		平成15年度	837千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり企業イノベーション促進事業費補助金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的 「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした「夢」「志」「新しい試み」へ挑戦することを応援し、これまでのビジネスモデルから一歩踏み出した新たな取組を外部のクリエイターやデザイナー等と連携して行うものづくり企業を応援し、企業内イノベーションを促すことで、企業体力の強化を図る。</p> <p>2. 事業概要 ものづくり企業が温めていた「夢」「志」の実現やものづくり企業の資源(製品や技術等)の高収益化や社会的ニーズへの対応を図るために実施する「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした新たな事業活動に要する経費の一部を補助する。</p> <p>3. 対象事業 ○ ものづくり事業者が認知度向上を目的として新たに実施するブランディングやプロモーション ○ ものづくり事業者が保有する技術や製品に新たな価値を付すための技術開発や商品開発 ○ オンライン型直接販売に対応するための環境整備 など</p> <p>4. 補助対象経費 報償費、費用弁償、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料等</p> <p>5. 補助率 3分の2以内</p> <p>6. 補助上限額 200万円</p> <p>7. 令和5年度実績 11件</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※以降は未定		令和2年度	16,000千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり経営革新強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的</p> <p>経営環境が激変する中で、県内ものづくり企業は、脈々と引き継がれてきた組織風土や固定観念に加え、日々の受注生産への対応などに追われ、新たな取組を進める余裕がない企業も多く、県内ものづくり企業が持続的に発展していくためには、これまでにない思考や方法で経営を見直すなど、主体的に変化・挑戦することが重要であり、本事業により県内ものづくり企業が時代に適応した経営体制の構築や新事業への挑戦を後押しする。</p> <p>2. 事業概要</p> <p>県内ものづくり企業を対象とし、課題設定型伴走支援やクリエイターの発想力・表現力等を用いた伴走型ブランディング事業を実施し、企業の「自己変革力」を高めるモデル事例(3社予定)を創出する。また、県内ものづくり企業の自己変革力を高め、既成概念に捉われない発想で新たなチャレンジを促進するため、モデル事例の成果を情報発信し、県内ものづくり企業とモデル事例経営者等との交流の場を設ける。</p> <p>3. 支援対象者及び支援社数</p> <p>県内ものづくり企業を対象に3社程度を予定。</p> <p>4. 支援内容</p> <p>公募により選定した県内ものづくり企業の以下取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援企業の経営者と同事業の中小企業診断士が対話を重ね、自己変革力の土台となる“企業らしさ(ありたい姿)”を言語化。 ○ “企業らしさ”を軸にあらゆる経営活動に一貫性を持たせ、経営者や社員、取引先などステークホルダーの認識を合致させる。 ○ クリエイティブ支援が必要な場合は、必要に応じてクリエイターを伴走支援チームにアサインする。 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※以降は未定		令和6年度	8,011千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	アドバイザー委託事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 平成 26 年度から 3 年にわたって実施した有田焼 400 年事業により、有田焼産地再生に向けた方向性を見出すことができたが、その流れをさらに発展させ、事業化支援事業(窯業技術センターが地元陶磁器業界企業、クリエイター、クライアント等を結ぶハブ的機能を果たしながら、企画から流通までの一貫したモノづくりプロセスを支援するもの)のより効果的な事業展開を図るため、陶磁器ビジネスの事業化に関し豊かなノウハウを有する人材をアドバイザーとして招聘し、事業化支援事業の業務を委託する。</p> <p>○期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</p> <p>○事業内容</p> <p>①事業化支援外部アドバイザー関係 デザイン、製造、流通に至るまでの商品開発の各プロセスにおけるアドバイス 窯元、商社の関係者を結ぶコーディネートに関すること 産地外部のデザイナー、企業等の紹介、仲介</p> <p>②事業化支援セミナー関係 伊万里・有田焼産地内での商品開発にすぐに運用できるようなテーマの設定、テーマに適した講師の紹介、仲介</p> <p>③研究課題関係 窯業技術センターで実施する経常研究・支援事業「事業化支援関連」に関する助言、指導に関すること</p> <p>④職員指導関係 上記を通じた、職員への事業化支援ノウハウに対する助言、指導に関すること</p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 29 年度	5,159 千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	陶磁器デザインアプリケーション「iroe」(いろえ)の運用		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 佐賀県陶磁器産地の特色である、職人による伝統的な絵付けや文様、美しい絵具の色を未来へ発展・継承していくため、陶磁器専用のデザインアプリを開発した。その利用促進のため、アプリの機能更新と運用に取り組む。</p> <p>○アプリケーションの概要 陶磁器専用のデザインアプリとして、カラーデータベースの色見本を搭載し、さらにその色で絵付けや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能を実装。窯業関係者が開発段階での色検討やデザインに用いることができ、また一般の方やお子様でも、陶磁器の絵付けを楽しむことができる。実際の陶磁器の製造工程に沿って絵付けを進める工程になっており、デジタルやきもの体験を楽しむことができる。(令和5年4月リリース済。)</p> <p>○事業の内容 機能の追加・アップデート、また SNS での情報発信を行う。今後、先進的な産地づくりの取り組みとして、産地全体の体制づくりを検討し、伝統産地の技術と人材を活かしたものづくりにつなげる事業へと発展させるための支援を行う。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	3,071千円



佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	農林水産部 農業経営課
	電話連絡先	0952-25-7570
事業名	さが農村イノベーション推進事業「さがアグリヒーローズ」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>■目的</p> <p>県内外に広く知られるような農村ビジネス※の成功事例を、令和8年度までに5件以上創出する。 ※農村ビジネスとは、農産加工品の開発・製造や農産物直売所、農業体験・観光農園、農家レストラン、農家民宿などの農村にある資源・魅力を活かしたビジネスで、生産者の所得向上と地域の活性化を目指す取組。</p> <p>■事業概要</p> <p>農村ビジネスの成功事例を創出するため、さが農村イノベーション推進事業による支援を「さがアグリヒーローズ(SAH)」と称し、農家に対してデザインの視点を取り入れた商品開発やブランディング等をサポート。 具体的には、プロポーザルによってプロデューサー(総括クリエイター)を決定し、総括クリエイターは公募により重点支援者となる農家5組を選定。令和8年度までに農村ビジネスで成功事例となるような事業計画(4カ年プラン)を立案。重点支援者の目標の実現に向けて、総括クリエイターは綿密なヒアリングのもと、デザイナーや料理研究家などの専門クリエイターを全国各地から選定し、対象者に応じた支援を実施する。 ※令和5年度から第2期がスタート。第1期(令和1~4年度)については、5組の重点支援者全員が目標の売上高1,000万円増を達成。 ※2022年度グッドデザイン・ベスト100受賞(『農業分野におけるデザイン経営の導入』としてさがアグリヒーローズの取組が、「明日を切り拓く力をもったデザイン」「未来を示唆するデザイン」として高い評価を得て受賞。)</p> <p>■活動内容</p> <p>(1)重点支援者の目標の実現に向けた取組 重点支援者5組それぞれにプロジェクトチームを組み、打合せを実施。ブランドイメージを鮮明にするロゴマークやパッケージ、HP、農家の生産物を使った加工品等を制作。</p> <p>(2)情報発信</p> <p>①事業全体の広報ツールとして、インスタ、Facebook、HPを開設。</p> <p>②佐賀大学農学部特別講義 期日 令和5年6月26日(月) 場所 佐賀大学農学部大講義室(佐賀市) 内容 農学部1年生を対象にさがアグリヒーローズの事業について紹介</p> <p>③県内広報イベント「さがアグリマーケット」(さがアグリヒーローズイベント) 期日 令和5年11月11日(土) 場所 佐賀駅前交流広場(佐賀市) 内容 販売、体験ブース、ワークショップ、トークショー 来場者 約600人</p> <p>④成果報告会 期日 令和6年2月13日(火) 場所 JONAI SQUARE(さがテレビ1F)(佐賀市) 内容 総括クリエイターによる本年度の取組成果報告、重点支援者及び専門クリエイターの紹介、質疑応答、意見交換 参加者 約30名</p> <p><参考URL> https://saga-agriheroes.com/</p>		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	17,956千円



佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	健康福祉部 障害福祉課 就労支援室
	電話連絡先	0952-25-7389

事業名	授産事業パワーアップ事業「デザイン等魅力向上事業」
-----	---------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【事業目的】

障害者が地域社会で自立した生活を営めるよう、県内の障害福祉サービス事業所のうち、工賃収入の安定確保及び向上に取り組んでいる就労継続支援 B 型事業所及び別途定める要件を満たしている就労継続支援 A 型事業所（以下、「事業所等」という。）に対して、専門家を招聘・派遣し、商品、パッケージ等の開発・改良支援等を行う。

【実施時期】

令和 5 年 6 月 7 日～令和 6 年 3 月 3 1 日まで

【実施内容】

① 専門家の選定

ア 市場のニーズを捉えた商品等ブランドの構築、商品開発、販路開拓等に関する監修についての経験と実績を有する専門家（クリエイター等）を選定する。

イ 専門家の選定については、県と協議のうえ決定する。

② 商品開発支援等

①で選定した専門家を（４）で選定した事業所等へ派遣し、以下の支援を行う。なお、支援に当たっては、サステイナブルな社会を目指す取組に配慮するよう努める。

ア 商品開発支援等

事業所等が行う商品開発等について、事業所等の要望を聞き、事業所等が持つ技術や強み等を活かしながら、新規商品開発、既存商品のブラッシュアップ、パッケージ改良等の支援を行う。なお、商品やパッケージ等の試作品に係る経費についても、委託事業の経費とする。

イ 動画制作

当事業において開発した商品等及び開発に至るプロセスやストーリーを紹介する PR 動画を制作すること。なお、動画の制作にあたっては Youtube や各種 SNS に掲載可能なファイル形式による。

③ 成果発表会

ア 障害福祉施設の販売会（11月中旬開催予定）において、成果（商品等）の発表（障害福祉施設の販売会までに商品等が完成している場合に限る。）及び商品開発等が途中の場合は中間報告を行う。

イ 来場者へのアンケート調査を行い、集計及び分析して事業所へ報告する。

ウ 商品を魅力的に見せるようレイアウト指導を行う。

【参加事業所】

5 事業所

≪参考 URL≫

佐賀県障害者福祉課サイト

<https://www.youtube.com/channel/UCgkEBj76AdqtqRLQaA0pvSg>

【発商品例】



【開発前】

【完成】



令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度も継続して実施	令和 3 年度	5,500 千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	産業労働部産業政策課
	電話連絡先	0952-25-7182
事業名	クリエイティブ産業振興事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

◆目的

県内クリエイターの育成やコミュニティ形成支援、それらを活用する県内企業に対する啓発活動や意識改革による需要喚起、加えて双方の理解促進やマッチング支援等に段階的に取り組むことにより、県内におけるクリエイティブ産業の振興を図った。

◆事業概要

令和5年度においては、県内クリエイターへのヒアリングや活動実態調査やニーズ把握を進めつつ、ネットワーキングイベントやセミナーを実施することによりクリエイティブ産業振興の土台となるコミュニティ形成を図った。

◆実施内容

1. トークイベント

『SAGA ミライ経営トークルー』

【概要】

県内企業がクリエイターを活用した事例とともに、県がすすめる「さがデザイン」の考えやその活用事例を知ってもらうことで、企業のデザインへの関心を高め、活用につながることを目的とするもの。

(1) 開催日時: 令和5年8月20日(日) 15:00~17:00

(2) 場 所: SAGA アリーナ

(3) 内 容:

- ① 佐賀県が進める「さがデザイン」の考え方やその活用事例と共に、県内企業がデザインを活用した事例を紹介
- ② 事業承継支援機関からの説明のほか県内で実際に事業承継に関わった企業経営者とのトークセッションによる事例を紹介
- ③ 講演会

2. セミナー・ワークショップ

『SAGA2024土産品デザイン会議』

【概要】

県内の事業者に対し、県内のデザイナーのことを知ってもらい、デザイナーが関わって制作した商品等を見てもらいながら、デザインについて語り、広くデザインの利活用の可能性を伝えることを目的とするもの。

(1) 開催日時: 令和6年2月1日(木曜日) 14時~17時

(2) 場 所: JONAI SQUARE (佐賀市内 1-6-10)

(3) 内 容:

- ① 県内の土産品のデザイン活用による付加価値向上事例を含めたクロストーク
- ② デザイン会議(製品デザインへの想いや課題についてデザイナーを交えて議論)
- ③ 参加者交流会(事業者とデザイナーとのフリートーク)



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	2,500千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター	
	部署名	生産技術部 分室 諸富デザインセンター	
	電話連絡先	0952-47-5601	
事業名	技術ワークショップ事業「デザイン活用研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業目的】 県内企業の商品開発力向上や企業経営、新商品・サービス開発において重要となる、デザイン活用の考え方や活用手法の修得</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン思考を活用した新商品開発の考え方や手法に関する講習会及び実習等 ・企業活動におけるデザイン技術の活用に関する講習会及び実習等 ・中小企業におけるブランド構築に関する講習会及び実習等 <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工業技術センター デザイン担当者が講師、ファシリテーターとして開催 <ul style="list-style-type: none"> ・木製端材、未利用材を活用した商品開発について(1)・・・令和5年10月10日 ・木製端材、未利用材を活用した商品開発について(2)・・・令和5年11月29日 ○外部講師を招いてのセミナー形式での開催 <ul style="list-style-type: none"> 小企業や地方の企業の商品開発とプロモーションの考え方と実践手法について・・・令和6年3月21日 <p><参考 URL> https://www.saga-itc.jp/goriyoannai/_1028/kenkyuukai/dezain_katuyou_kenkyuukai.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	723千円

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	産業労働部企業振興課
	電話連絡先	095-895-2637
事業名	売れる！デザイン競争力強化事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>県内で企画・開発・製造されている商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、受賞商品の PR、販路拡大支援を実施した。</p> <p>■長崎デザインアワード2023</p> <p>募集対象:県内で企画・開発・製造された製品のうち、反復生産可能なもので令和4年4月1日から令和5年10月31日までに商品化され、現在も販売されているもの(令和4年4月1日以前に商品化されたものでも、上記期間内にデザインを改良し商品化されたものも含む)。</p> <p>募集期間:令和5年9月7日(木)～11月20日(月)</p> <p>応募総数:72点</p> <p>選定委員:6名(デザイン関連4名、バイヤー関連2名)</p> <p>受賞(表彰):大賞(1点)、金賞(2点)、銀賞(5点)、選定委員会特別賞(2点)</p> <p>その他:入選(10点)</p> <p>表彰式:令和6年1月16日(火)</p> <p>場 所:長崎県庁</p> <p>主 催:長崎県、長崎県産業デザインネットワーク</p> <p><参考 URL > https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/index.php</p>		
		 <p>表彰式</p>
		 <p>受賞商品</p>
		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	7,558 千円

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	長崎県窯業技術センター 戦略・デザイン科
	電話連絡先	0956-85-3140
事業名	セミナー事業他、技術支援業務	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>■デザインセミナーの開催</p> <p>テーマ:「ブランディング経営とその戦略」 ー自社の課題と市場の現状を知り ブランド構築による経営戦略で新たな価値を生み出すー</p> <p>期 日:第1回:令和6年2月29日 13:00～15:00(現地・オンライン) 第2回:令和6年2月29日 15:00～17:00(現地) 第3回:令和6年3月1日 10:00～12:00(現地)</p> <p>タイトル:第1回:「レクチャー:成熟した市場において必要な価値提供とは」 第2回:「ワークショップ①:生産者の課題とその分析」 第3回:「ワークショップ②:ブランディング」</p> <p>概 要:graf 代表のクリエイティブディレクター・デザイナーである服部滋樹氏を講師に招き、デザインセミナーを開催した。変化する現代の市場の現状を知り、製品のブランディングについてのワークショップを通して経営戦略を学んだ。 第1回は「成熟した市場において必要な価値提供とは」と題して、現代の価値観や購買行動についてレクチャーにより成熟市場における戦略を学んだ。 第2回はレクチャーの内容を踏まえて、セミナー参加企業が認識している自社の強みや弱み、今後の展望等をグループで話し合うワークショップを行った。講師を中心に外部の視点からの知見を得ることで、自社の現状を分析・把握した。 第3回では、第2回のワークショップで整理した各社の現状を踏まえ、仮に想定した製品のブランディングを考えた。ターゲットや開発プロセス、購買行動につながるストーリー、新たに提供する価値などについて考え、グループごとに発表し講師からのフィードバックも得ることができた。</p> <p>講 師:服部 滋樹 氏(graf 代表) 受 講 者:52人(延べ)</p> <p>■県内陶磁器産業の新商品開発支援</p> <p>波佐見焼の最新トレンドを反映した新商品の開発と販路拡大を目的に、「テーブルウェア・フェスティバル」に出展するための商品開発におけるデザイン及び技術を支援 対象:波佐見陶磁器工業協同組合の窯元のうち参加を希望する企業 支援企業数:14社</p> <p>■長崎県産業デザインネットワーク(NID-net)</p> <p>デザイナーをはじめ、デザイン会社やデザインに関心のある企業、支援機関、団体、金融機関等のネットワークを構築し、会員相互の企業間連携、デザインの啓発、情報の共有、デザインの高付加価値化、市場開拓・販売促進などデザイン活動を推進する。 会員数:221者</p> <p>■デザイナーズバンク</p> <p>様々な県内企業等の自社商品のデザイン力向上のため、デザインの相談を希望する県内企業等からの相談内容に応じて、バンクに登録しているデザイナーやデザイン関連企業を紹介する。 登録者数:53人</p> <p><参考 URL > https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/index.php</p>		
令和5年度実施予定		予算額
		千円

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術相談／カスタムメイド試験研究事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>熊本県産業技術センターでは、県内企業の商品開発、新規事業創出等において、デザイン思考による開発技術(デザイン開発技術)を導入する支援を行っています。</p> <p>『デザイン開発技術』※とは？ 製品の審美性のみならず、ユーザーが求める価値、使用によって得られる新たな経験の実現・経験の質的な向上等を追求することにより、製品自体の優位性に加え、製品と人、製品と社会との相互作用的な関わりも含めた価値創造に繋がる総合的な設計技術。</p> <p>※特定ものづくり基盤技術 デザイン開発にかかる技術 概要(中小企業庁のホームページ)より https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/2018/j01.pdf (熊本県産業技術センターの事例も掲載)</p> <p>○技術相談 商品開発やブランド創出等に関する相談全般について対応しています。これから新たに商品開発やブランド創出等に取り組みたいと考えている企業の方、現在、すでに取り組んでおり、問題や悩みを抱えている企業の方等からの相談を受け付けています。</p> <p>○カスタムメイド試験研究事業 熊本県産業技術センターが、研究開発、測定・分析、技術者研修等に関する企業からの要望に応え、受託料を受けて実施する事業です。デザイン分野では、県内企業の商品開発、ブランド創出、ユーザビリティ評価等に関するテーマを受け付けています。</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/support/guidance.html</p> <p>【デザインに関する情報、及び相談窓口が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/etc/dyb/aq.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術普及講習会(産業デザイン関連)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業に対し、ブランド創出から商品企画・開発などデザイン関連の最新の技術情報を普及するために、外部講師の協力等による最新技術の普及セミナー等を行っています。</p> <p>特に、デザイン思考やブランディングデザインに関する手法、事例を提供することで、デザインの必要性や価値について、体験してもらい、感じてもらうためのセミナーやワークショップを開催しています。</p> <p>○過去に開催したテーマの事例(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチェスター経営戦略 (中小規模事業者ならではの経営戦略) ・ビジネスモデルキャンパス ・極端思考発想法 ・インクルーシブデザイン ・ゲームニクス ・ブランディングデザイン ・「行為のデザイン」思考法 			
			
令和6年度実施予定		講習会の様子	
		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	天草市	
	部署名	経済部産業政策課	
	電話連絡先	0969-32-6786	
事業名	天草市デザイン経営強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内の事業者の競争力向上を図るため、経営戦略にデザイン思考を取り入れ、企業の抱える課題を解決しイノベーションを起こす経営とデザインを一体化した「デザイン経営」の導入を促進する。本事業では、事業者のデザインに対する意識改革と市内デザイナーの育成を行うとともに、市内企業と市内デザイナーをマッチングし、事業者のデザイン経営戦略の土台を作るところまでを支援する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○天草デザイン経営導入促進シンポジウムの開催 《日 時》令和5年7月10日(月)13時～16時 《会 場》天草市複合施設こくらす 《テーマ》デザイン戦略で勝ち抜く！～ポテンシャルを利益へ～ 《講 師》博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏 マーケティングデザインスタジオ SEE°C 代表 八木田一世 氏 《参加人数》65 名 《実施団体》天草市産業政策課</p> <p>○天草デザインプロデューサー道場の開催 《日 時》令和5年8月7日、8日、31日、9月1日、10月5日、6日、11月16日 各日4時間 《会 場》天草市複合施設こくらす 等 《内 容》7日間の講座を通じて、デザインの力で経営を変え、現状を打破する事業を生み、生き残る経営手法に取り組む事業者及びその事業者を支援するデザインプロデューサー人材を育成する。</p> <p>《メイン講師》 博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏 《ゲスト講師》 景色デザイン室 古庄悠泰 氏 (株)かつあき 佐藤かつあき 氏 (株)パースプランニング 松尾聡子 氏 (株)サルトコラボレイティブ及び株式会社 THE MARKET 加藤寛之 氏 (株)出雲路本製作所 中井希衣子 氏 (有)宮川洋蘭 宮川将人 氏 (株)シークルーズ 瀬崎公介 氏 《参加人数》10 名 《実施団体》天草市産業政策課</p>			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	2,585 千円

大分県	機関名	大分県
	部署名	商工観光労働部 経営創造・金融課
	電話連絡先	097-506-3232

事業名	クリエイティブ活用推進事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

大分県では、優れた技術やノウハウを持つ県内の企業と、最先端の技術や、豊かな発想・感性を持ち、企業に対してその能力、技術を発揮できるクリエイティブ人材が交流し、コラボレーション(協働)することで、競争力の高い商品・サービスの創出や、新規マーケットの開拓等に繋げることを目的とした、クリエイティブ活用事業に取り組んでいる。

■クリエイティブ活用個別相談事業

県内中小企業や個人事業主等を対象にクリエイティブ活用のセミナーを開催。
 クリエイティブの活用についての講演や県内クリエイターによる事例紹介、
 希望者には個別相談を実施。

○クリエイティブ活用の講演

内容:「なぜクリエイティブが必要なのか」
 「地域とクリエイティブの掛け算でどのような真価が発揮できるのか」
 「クリエイティブのチカラで社会に新しい気づきをもたらそう」

講師:株式会社 野村総合研究所 坂口剛氏
 一般社団法人 OITA CREATIVE PRODUCTION 廣部慧氏
 POOL Inc. 小西利行氏

○県内クリエイターによる事例紹介

○個別相談会(希望者のみ)

日程及び会場
 佐伯市(9/15)、竹田市(10/13)、別府市(10/20)
 大分市(11/10)、国東市(11/24)、宇佐市(12/15) オンライン(12/18)
 参加者 合計 219 名



■県内クリエイター高度人材育成事業

県内の企業とクリエイティブ人材が交流し、協働することで、競争力の高い
 商品・サービスの創出や新規マーケットの開拓等に繋げることを目的に連続
 講座(おおいたクリエイティブ実践カレッジ)を2コースで実施。
 「Standard30(基礎) 27名」、「Leader5(応用) 5名」

○クリエイティブ活用の講演

内容:「パーパスブランディングとはなにか」等
 講師:メイン講師

株式会社野村総合研究所 坂口剛氏
 株式会社 POPS 代表 田中淳一氏
 その他、第一線で活躍中のクリエイターなどの講師陣が参加

○県内企業に対する提案(現状把握・課題設定・課題解決)

○コミュニティ活動

受講生と過去の受講生の有志によるコミュニティ
 勉強会やワークショップ等を行うことで、メンバー間の交流と繋がりを創出



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度で事業終了、令和6年度から新規事業を実施	令和3年度	22,901千円

大分県	機関名	大分県産業科学技術センター	
	部署名	製品開発支援担当	
	電話連絡先	097-596-7101	
事業名	商品化プロデュース支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1. 事業目的	<p>県内中小企業が取り組む商品開発において、開発各段階に対応した的確できめ細かな伴走支援によって、市場競争力のある商品を創出すると共に、企業内に経営資源としての「デザイン」を定着させ、売れる商品を生み出すことのできる企業を育成することを目的としています。</p>		
2. 実施主体	大分県		
3. 事業内容	<p>フェーズA 商品企画ステップアップ 対象:支援企業2社程度 期間:約7カ月(企画会議 月2回程度開催) 内容: 商品開発の第1段階である商品企画について「ユーザーの心を捉える」企画の立案・作成を支援します。</p> <p>フェーズB 商品化サポート事業 対象:支援企業2社程度 期間:約7カ月 内容: 具体的な商品化を目指しそのデザイン開発(図面・モデル・プロトタイプ作成など)を支援します。</p>		
<div style="text-align: center;"> <h3>売れる商品を自社で創る。</h3> <p>売れる商品を自社で生み出せる企業の育成が目的の事業です。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed orange; padding: 5px; width: 45%;"> <p>フェーズA 「商品企画ステップアップ」</p> <p>商品開発の第1段階である商品企画について「ユーザーの心を捉える」企画の立案・作成を支援します。</p> <p>企画会議 1～2回/月 専門アドバイザー指導 1～2回程度</p> <p>6月 選定</p> <p>7月 企業+センター合同チーム編成</p> <p>8月 専門アドバイザー個別指導</p> <p>2月 企画完成(事業終了)</p> </div> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; width: 45%;"> <p>フェーズB 「商品化サポート」</p> <p>具体的な商品化を目指しそのデザイン開発(図面・モデル・プロトタイプ作成など)を支援します。</p> <p>開発会議 1～2回/月 専門アドバイザー指導 1～5回程度</p> <p>6月 選定詳細委員会</p> <p>7月 企業+センター合同チーム編成</p> <p>8月 専門アドバイザー個別指導</p> <p>2月 プロトタイプ完成(事業終了)</p> </div> </div>			
<参考 URL> https://www.oita-ri.jp/kakutantou/seihinkaihatu/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
事業内容を一部変更し、継続して実施中		令和2年度	1,663千円

宮崎県	機関名	宮崎県
	部署名	総合政策部産業政策課
	電話連絡先	みやざきフードビジネス相談ステーション 0985-89-4452 総合政策部産業政策課 0985-26-7052
事業名	フードビジネス推進基盤強化事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

フードビジネスに取り組む事業者からの様々な相談に適切に対応するため、ワンストップの総合相談窓口として「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、関係支援機関とも連携を図りながら、事業者の事業拡大等の支援を行っている。

- デザイナーズバンクの設置
 フードビジネスに取り組む事業者からのデザインに関する相談に対して、みやざきフードビジネス相談ステーションのデザイナーズバンクに登録されているデザイナーを紹介。
 登録デザイナー数:31名
 対象デザイン:加工品や成果物のパッケージデザイン、POPや販促資材に係るデザイン、リーフレットやウェブデザイン など
 デザインに関する相談件数:41件/令和5年度実績(全相談件数1,427件)
- その他
 本事業は、公益財団法人宮崎県産業振興機構に委託して実施している。
 本事業に係る情報が掲載されている URL :
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/shigoto/foodbusiness/20240610113011.html> (宮崎県 HP)

公益財団法人 宮崎県産業振興機構
みやざきフードビジネス相談ステーション

食に関するお悩みまるごと解決

相談無料 事前予約制

相談体制

事業計画 資金調達 | 商品開発 衛生管理 | 食品表示 デザイン | マッチング 販路開拓

専属コーディネーター + 各種専門家 + 支援機関 と連携を図りながら課題解決に向けてサポートします

6次産業化に取り組む生産者の皆さま | 多種多様な専門業種との連携を求める事業者の皆さま

農山漁村発イノベーションサポート事業 | LFP Local Food Project Miyazaki | みやざきローカルフードプロジェクト強化事業

各種専門家 (アドバイザー、プランナー) | 関係支援機関 (試験研究機関、大学) | デザイナーズバンク (県内の登録デザイナー)

相談の流れ

- 1 必要予約 電話で予約 (相談内容を確認し、初回の相談日を調整します。)
- 2 面談又はオンライン (担当コーディネーターが、現状から目標達成のための課題を導き出し、具体的なアドバイスを行います。)
- 3 伴走支援 (担当コーディネーターと共に、課題解決に向けた取り組みを行います。)

ワンストップの相談窓口としてご利用ください

お問い合わせ 0985-89-4452
みやざきフードビジネス相談ステーション
月曜日～金曜日 (8:30-17:15 / 12:00-13:00) 及び土日祝日

みやざきフードビジネス相談ステーション

充実のサポート内容

商品化への流れに応じて必要なアドバイスを行います

※必ず、お電話ください。相談無料 (電話予約) オンラインもOK

基本的な商品化への流れ			
①リサーチ	②企画・立案	③商品化	④生産・販売
調査方法	アイデア出し/商品開発 事業計画/資金調達	加工技術/衛生管理 食品表示/デザイン	マッチング/販路開拓
マーケットの傾向による商品化に向けた基本的な考え方や、調査方法、具体的な取り組み方について助言。	販売戦略を練った新規品開発や、新事業に取り組むための事業計画の策定、資金調達先として県や県外の補助事業の紹介。	食品加工に取り組むための一連の流れや衛生管理、食品表示、商品化に向けたデザインの考え方、県内の委託可能な食品製造業者の紹介。	商品内販、生産調整の確保、農産物・加工品の紹介と相談に必要な書類や交渉の進め方について助言。

***** 相談会の開催や必要に応じた専門家の派遣も行っています *****

食品表示 相談会 毎月第三木曜日に食品表示無料相談会を開催しています。(要予約) 既存商品の表示見直しや、新商品の表示など、ご相談ください。	企業訪問 担当コーディネーターが現場を視察しながら相談対応することも可能です。(対象: 日輪県内主催)	専門家の派遣 各種相談内容に応じ、コーディネーターと共に専門アドバイザーを派遣します。	デザイナーズバンク 県内でのデザイン印刷会社及び個人デザイナーの登録バンクがあります。希望される方への情報提供も行っています。
--	---	---	---

当ステーションのHP、Facebook、メールマガジン (産業振興機構) 支援事例やセミナー、補助金公募案内などの情報を発信!

ホームページ | フェイスブック

フードビジネス相談ステーション 検索

公益財団法人 宮崎県産業振興機構
みやざきフードビジネス相談ステーション
農山漁村発イノベーションサポートセンター
みやざきLFP事務局

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468
相談受付時間 月曜日～金曜日(9:00-17:00/12:00-13:00)及び土日祝日

food@port.or.jp
〒880-0811 宮崎市高島1-10 日輪グリーンピア宮崎館 (KTCENビル)3F
(お越しの際は、最寄りの方針路 駐車場または公共交通機関をご利用ください)

令和6年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

平成25年度

53,000千円

鹿児島県	機関名	鹿児島県工業技術センター
	部署名	企画支援部
	電話連絡先	0995-43-5111

事業名	環境・生活・デザイン技術開発研究事業「薩摩焼割付文様を利用した工芸品の開発」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

鹿児島県工業技術センターでは、県内企業の製造技術の向上を図るために工業デザインや工芸品に関する技術相談、依頼分析・試験等の技術支援と研究開発を行っています。

■事業目的

薩摩焼割付文様は、主に白薩摩の上絵に用いられる金彩を用いた幾何学文様である。古くは江戸時代より現代まで描かれており、現存する鹿児島の工芸品において、最も古い文様の1つであると言える。しかし、白薩摩焼の窯元の減少と、窯元が新規文様を創出する機会の減少により、描かれる機会が減ってきている。そこで、白薩摩の割付文様について調査・研究し、文様をデータ化・図形化の手法を研究する。さらに近年開発された「かごんまの色®」などを複合利用することで、新規文様および薩摩焼の新商品創出に向けた取り組みを行う。また、薩摩焼割付文様と当センター所有のレーザー加工機の切断、彫刻、ケガキ彫刻を利用して、薩摩焼だけでなく、他の工芸品へ文様を展開した工芸品の開発を行う。

■令和5年度実施内容

① レーザ加工機などによる加工研究(素材,加工技術全般)

- ・レーザー加工機による木材(無垢材,合板),アクリル等での加工条件を探った。

② 割付文様を利用した工芸品,テーブルウェアなどへの展開例の研究

- ・県の伝統的工芸品である鶴田和紙で割付文様の展開を行い、住宅メーカーを中心としたグループが電波時計を商品化し、知事のベトナム訪問時の記念品として採用された。また、2023 かごしまの新特産品コンクールにおいて特産品協会理事長賞を受賞した。
- ・テーブルランナーの改良版(大島紬 ver.)の試作を行った。

③ 割付文様を使った薩摩焼アクセサリ等,小物への展開,試作

- ・県内窯元2社と共同で、アクセサリの試作を行った。
- ・「かごんまの色®」を使った割付文様を白薩摩豆皿に展開、窯元への提案を行った。



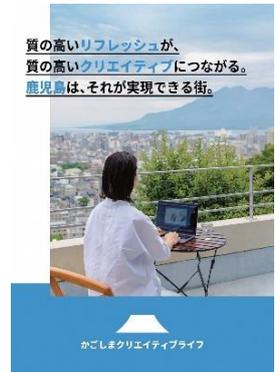
<参考 URL >

<https://www.kagoshima-it.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和4年度	—

鹿児島県	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内デザイナー等のスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、「かごしまデザインアワード」を開催するほか、10回記念イベントの開催や受賞者等のデータベース化、受賞作品の商品化支援等を行い、クリエイティブ産業の振興を図る。</p> <p>■「かごしまデザインアワード 2023」の開催 市内企業からのデザイン課題に対する作品を募集し、優秀な作品に褒賞を授与。 ○テーマ:「鹿児島をリデザインする。」 ○課題:募集期間:令和5年7月7日～10月2日 ・黒豚製品ギフトケースデザイン(AKR Food Company 株式会社) ・鹿児島サンロイヤルホテルのキャラクターデザイン(鹿児島国際観光株式会社) ・美容室向け管理サービス CyCal のローディングアニメーション(株式会社 CyCal) ・カウンターコーヒーの鹿児島限定カップデザイン(株式会社南九州ファミリーマート) ・焼酎定期使用パウチのパッケージデザイン(合同会社和総) ・鹿児島市立美術館のロゴデザイン(鹿児島市立美術館) ○応募総数:638 作品 ○最終審査及び表彰式:令和5年12月20日、城山ホテル鹿児島にて実施</p>  <p>■「かごしまデザインアワード 10 回記念トークショー & マルシェ」の開催 かごしまデザインアワードの開催 10 回を記念し、これまでを振り返り、今後更にクリエイティブの力で鹿児島市を盛り上げていくため、多様なゲストと鹿児島市長によるトークショーのほか、これまでのかごしまデザインアワードから誕生した商品等の購入や飲食ができるマルシェを開催。 ・期日:令和6年2月11日 ・場所:センテラス天文館 ・トークショー登壇者 野田 クリスタル 氏(芸人・ゲームクリエイター) 下鶴 隆央 鹿児島市長 伊地知 裕貴 氏(ZERO HOURS DESIGN STUDIO ※かごしまデザインアワード 2014 最優秀賞受賞者) 福元 文雄 氏(東酒造株式会社 代表取締役 ※かごしまデザインアワード 2018 課題提供企業) ウジ トモ 氏(戦略デザインコンサルタント/アートディレクター ※かごしまデザインアワード審査員)</p> <p>■「鹿児島市クリエイターズデータベース」の作成 鹿児島市内で活躍するクリエイターの取組内容を広く周知するとともに、市内クリエイターと市内外の企業とのマッチング機会を創出することを目的に、鹿児島市ホームページにおいて、趣旨に賛同した市内クリエイターの情報を掲載するもの ・登録クリエイター数(令和5年度末時点):24 事業者 ・鹿児島市クリエイターズデータベース URL: https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creatordatabase.html</p> <p>■「クリエイティブ分野の人材育成セミナー」の開催 ○デザインコンテスト AI 時代の課題 ・期日:令和5年9月7日 ※オンライン開催 ・講師: ウジ トモコ氏(戦略デザインコンサルタント/アートディレクター) 丸尾 弘志氏(日経 BP 総合研究所 上席研究員) 廻 健二郎氏(デジタルハリウッド株式会社取締役 COO/デジタルハリウッド大学准教授) ・参加者:27 名</p>			
	令和6年度実施予定	開始年度	予算額
	令和5年度で事業終了	平成25年度	13,807 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	クリエイティブ人材誘致事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>クリエイティブ産業の振興及び集積促進を図るため、UIJ ターンイベントを開催する等、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致する取組みを行う。</p> <p>■UIJ ターンイベントの開催</p> <p>東京、大阪、福岡にて、本市の移住関連施策等の説明、鹿児島在住クリエイター等によるトークセッションや作品等の紹介、交流会などを開催し、移住に関心のある方々との交流を図る。</p> <p>【東京】日時:令和 5 年 10 月 5 日(木) 19 時～21 時 場所:㈱フェローズレゼプションルーム(渋谷区) 参加者:会場 11 名、オンライン 3 名</p> <p>【大阪】日時:令和 5 年 9 月 13 日(水) 19 時～21 時 場所:OBP Academia(大阪市) 参加者:会場 8 名</p> <p>【福岡】日時:令和 5 年 9 月 14 日(木) 19 時～21 時 場所:The Company DAIMYO(福岡市) 参加者:会場 9 名</p> <p>■お試し移住プログラムの開催</p> <p>鹿児島市への移住を検討されているクリエイターの方を対象に、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや市内企業での副業体験、市内で活動するクリエイターとの交流会などを通じて、鹿児島市の生活環境やビジネス環境を体感していただくプログラム。</p> <p>○日時:令和 6 年 2 月 2 日(金)～2 月 6 日(火) ○参加者:8 名</p> <p>■移住クリエイター交流会</p> <p>鹿児島市へ移住したクリエイターを対象に、コミュニティ形成支援やビジネスマッチングの機会を提供することを目的として、年2回の交流会を開催する。</p> <p>○1回目 日時:令和 5 年 6 月 26 日(月) 参加者:12 名 ○2回目 日時:令和 6 年 2 月 5 日(月) 参加者:28 名</p> <p>■クリエイティブ人材誘致事業補助金</p> <p>首都圏等に集中しているクリエイティブ人材が鹿児島市へ移住された場合に、移住に要する経費に対して補助を行う。</p> <p>○補助対象:事業所改修費用及び設備投資費用 ○応募資格:クリエイター(情報通信、映像・コンテンツ制作、デザイン、芸術)、プロデューサー又はディレクター(クリエイターとともにビジネスを行う者) ○補助額:1件あたり 10 万円を限度とする ○補助率:補助対象経費の 2 分の 1 ○補助実績:2 件</p> <p><参考 URL> https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creative-life2020.html</p>		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 28 年度	8,066 千円



鹿児島県	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出拠点施設 (mark MEIZAN) 企画運営事業		
事業概要 (事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>クリエイティブ産業の振興を図り、地域経済の活性化に資するため、クリエイティブ人材等の育成、多様な事業者等との交流等を行う拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行う。</p> <p>■施設の基本的機能</p> <p>(1) クリエイティブ人材育成 ・クリエイティブ人材育成セミナー等の開催、ビジネスマッチングイベントの開催 等</p> <p>(2) コミュニティ形成 ・コミュニティ形成のためのイベント及びワークショップの開催、クリエイターを巻き込んだ施設の企画運営会議の開催 等</p> <p>(3) 入居者等の支援 ・入居者や来館者等とのコミュニティ形成を支援するイベント等の開催</p> <p>(4) スタートアップ支援 ・スタートアップ支援プログラムの企画・運営、スタートアップ相談支援 等</p> <p>(5) 情報発信 ・施設専用 WEB サイト運営、SNS 等による情報発信 等</p> <p>■入居室等 ①入居室 24 室 ②シェアオフィス 6 スペース</p> <p>■交流スペース利用登録者数 3,554 名 (平成 31 年 2 月～令和 6 年 3 月末)</p> <p>■セミナー・ワークショップ・ビジネスマッチングイベント ・クリエイティブ関連セミナー 17 回 ・ビジネスマッチングイベント 2 回 ・コミュニティ形成イベント 17 回、スタートアップ支援プログラム 8 回</p>			
			
			
<参考 URL> https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan.html			
	令和6年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成 30 年度	159,233 千円

九州経済産業局	機関名	九州経済産業局
	部署名	産業部 流通・サービス産業課 サービス・コンテンツ産業室
	電話連絡先	092-482-5511

事業名	地域におけるデザイン経営の普及と自走化のためのエコシステム構築に向けた広報事業
------------	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

九州経済産業局では、デザイン経営に取り組む事業者・商店街15者取材してデザイン経営事例集を作成するとともに、WEB サイトを立ち上げデザイン経営事業に関する情報発信を強化。さらに、事業者がデザイン経営に触れる機会としてデザイン経営カフェを計3回開催した。

●事業の概要

①デザイン経営事例集の作成

デザイナーが伴走した事業者が実際に行っているデザイン経営やそのプロセスを中心に、ユニークな取組を実践する事業者・商店街15者取材し、デザイン経営事例集を作成。

デザイン経営事例集：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_case_studies.html

②WEB サイトの構築

新たに WEB サイトを立ち上げデザイン経営事業に関する情報発信を強化。①で作成したデザイン経営事例集も掲載。

The screenshot displays a website titled 'デザイン経営とは' (What is Design Management). It features several articles with titles like 'あなたの企業に課題はありますか？', '企業は誰がデザインする？', and 'デザイン経営とは？'. There are also images of people working together and a person using a laptop.

参考 URL：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_mgmt.html

③デザイン経営カフェの実施

成功事例の横展開を図るため、「九州デザイン経営カフェ」を北九州市、熊本市、長崎市で開催し、事業者がデザイン経営に触れる機会を創出。実際に事業者に伴走したデザイナーを登壇者に迎え、デザイン経営の現場の空気をお伝えした。事例集では語り尽くせない想いや試行錯誤の数々を伝え、デザイナーや事業者同士の交流の場となった。

デザイン経営カフェ：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_cafe.html

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
デザイン経営を活用した地域観光の消費拡大に向けた支援事業	令和6年度	—